

令和5年3月2日	
所 属	学校教育課
所属長	澤田 慶太
電 話	06-4950-5685

市立中学校の卒業証書における記載誤りについて

尼崎市教育委員会は、市立中学校において、記載誤りのあるまま印刷した卒業証書を、令和3年度の卒業生212名に授与していたことが判明しましたのでお知らせします。

1 経 緯

令和4年3月10日（木）

- ・令和3年度卒業証書授与式において、当該中学校の卒業生212名に対し、卒業証書を授与しました。

令和5年2月16日（木）

- ・令和4年度の卒業生に授与する卒業証書を作成するため、令和3年度の作成データを確認したところ、「課程」と記載されるはずの箇所が「過程」となっていることに気がきました。

令和5年2月17日（金）

- ・当該中学校が、令和3年度の卒業生に、実際に授与した卒業証書を確認したところ、データ通り「過程」のまま印刷されていることが確認されました。

2 記載誤りの原因

記載誤りが生じた原因について関係者に聞き取り調査を行ったところ、令和3年度に現校長が着任したことにより、校長名を変更すると同時に、卒業証書の文面からすべて作成し直した際に、変換ミスに気付かずそのまま印刷をしてしまった事実が確認されました。教職員が複数体制で卒業生の氏名や生年月日等の卒業証書の記載内容について確認を行いました。本文中の記載誤りには気が付きませんでした。

3 今後の対応

今回の事案の対象となる令和3年度212名の全卒業生及び保護者の皆様に対しては、家庭訪問を行い、謝罪するとともに、正しい卒業証書との差し替えを行っているところです。今後は、管理職を含め学年担当教職員が複数体制で確認作業を行うとともに、学校の信頼回復に最善を尽くしてまいります。市教育委員会としても、今回の事例を受け、市立の幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校で作成する卒業証書を確認し、再発防止に努めてまいります。

以 上